

工事写真報告書

工事番号 平成 25 年度

工事名 H 様邸

工事箇所 外壁・その他塗装工事一式

工事住所 京都郡 みやこ町 勝山大久保

工期 着手 平成 年 月 日

竣工 平成 年 月 日

工事施工者 ベストホーム株式会社



外観



外観



外観



外観



破風(鼻かくし)

経年劣化・旧塗膜の剥離が見られます。

このまま塗装をしても旧塗膜から剥がれる恐れがありますので、ケレン作業をおこない密着の悪い旧塗膜を除去し、専用の下塗りをおこない塗装をしていきます。



鼻かくし(破風)

同上



軒天

経年劣化しております。

この部分は通気性の良い軒天専用の
塗装をしていきます。



雨戸

この部分は鉄、スチール素材になり
ます。劣化するとサビが発生してき
ますので塗装が必要です。



雨戸

対処方法

サビが発生しているうえに塗装をし
てもすぐにサビが表面化してきます
ので、ケレン作業・サビ止め等の下
地処理をおこない、塗装をしていく
必要があります。



換気フード

こちら鉄・スチール素材になりますので、塗装が必要です。



小庇

同上



軒天(木部)・桁

経年劣化しています。

この部分は防腐剤の入った木目を活かす、木専用の塗料を塗装していきます。



基礎 クラック部

アルカリ性のコンクリートは空気中の二酸化炭素や酸性雨と結合することによって徐々に中性化されます。

中性化されたコンクリートは表面にヒビが入るだけでなく、内部の鉄筋の腐食や膨張につながり構造物の性能低下につながりますので、シーリング等で補修をおこないます。



基礎 カビ発生部

カビの発生が見られます。
カビの上いくら塗装をしても、カビの根が塗膜を突き破って表面化してきますのでカビの根を抑える必要があります、カビの根を殺す防カビ下塗りをおこない塗装をおこないます。



塀 カビ発生部

同上



チョーキング現象

紫外線などにより塗膜の表面が劣化し、チョークの粉状のような状態になっています。

この状態になると表面から水や湿気を吸い込んでしまい、外壁や中の躯体の痛みにつながりますので、早めの塗装をお勧めします。



外壁 カビ発生部

カビの発生が見られます。カビの上いくら良い塗装をしても、カビの根が残っている以上塗膜を突き破って表面化してきますので、カビの根を抑える必要があります。



外壁 カビ発生部

対処方法

いくら高圧洗浄をかけても、カビの根が残ってしまいますので、カビの根を殺す防カビ下塗りをおこない、下塗り・上塗り二回の三層四工程をおこないます。



外壁 クラック部

数か所見られました。

この部分から雨水や湿気、炭酸ガス等が直接侵入し躯体の痛みや建物の寿命につながりますので、シーリング等で補修をおこない塗装をしていきます。



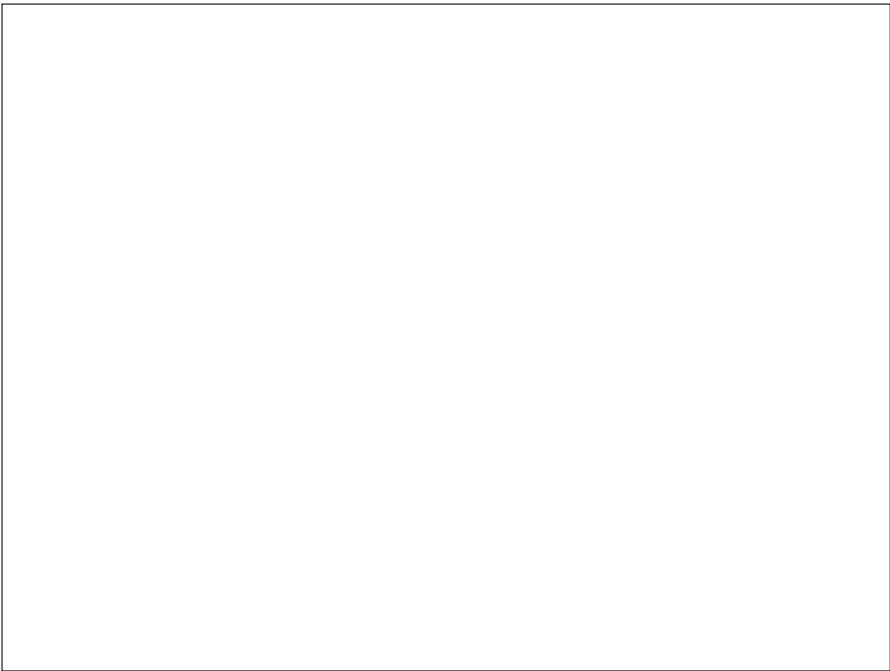
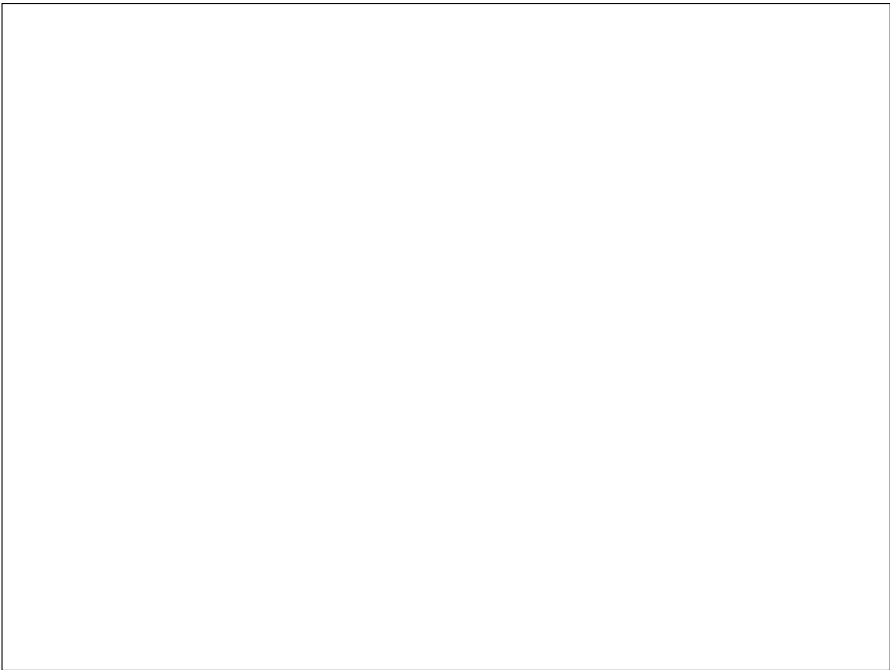
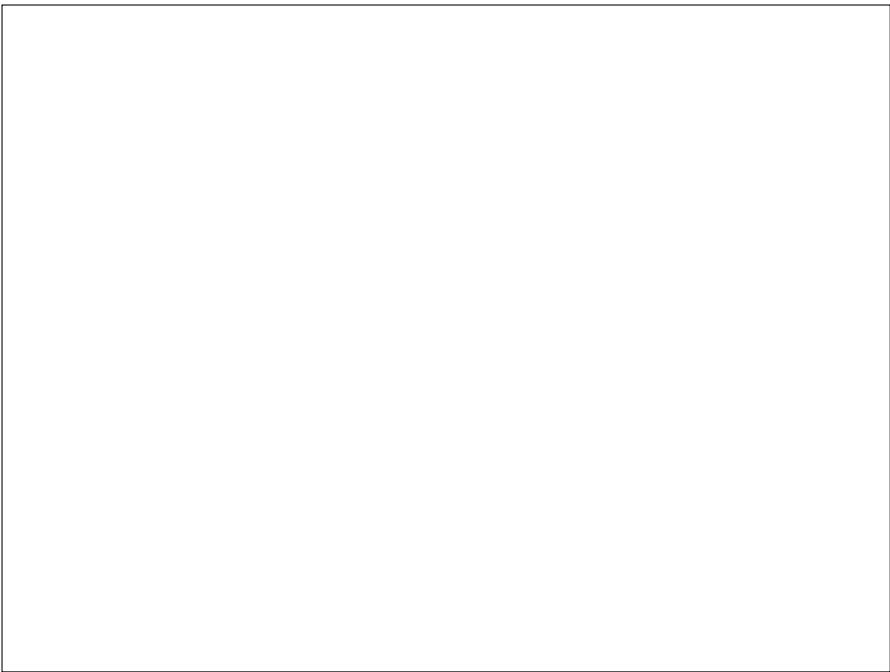
クラック部

同上



クラック部

同上



Empty rectangular box for drawing or writing.

Empty rectangular box for drawing or writing.

Empty rectangular box for drawing or writing.

Eight horizontal lines for writing.

Eight horizontal lines for writing.

Eight horizontal lines for writing.

